

令和3年度 年間指導計画(評価計画) 数学 1年

1 評価の観点及びその趣旨

	観 点	趣 旨
①	知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

2 年間指導計画

月	単元	学習事項(指導内容)	時数	観点	評価基準	評価方法
4月 5月	1章 正の数・負の数	1 正の数と負の数 1 符号の付いた数 2 数の大小	25	①	<ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数の必要性和意味を理解している。 正の数と負の数の四則計算をすることができる。 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子 提出物 振り返りシート (授業・節・章) 小テスト 定期考査
		2 加法と減法 1 加法 2 減法 3 加法と減法の混じった式		②	<ul style="list-style-type: none"> 算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる 	
		3 乗法と除法 1 乗法 2 除法		③	<ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数のよさに気付いて粘り強く考え、正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。 	
6月 7月	2章 文字式	1 文字と式 1 文字を使った式 2 文字式の表し方 3 いろいろな数量の表し方 4 式の値	20	①	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いることの必要性和意味を理解している。 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知っている。 簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。 数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。 数量の関係や法則などを、式を用いて表したり読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子 提出物 振り返りシート (授業・節・章) 小テスト 定期考査
		2 文字式の計算 1 1次式の加法・減法 2 1次式と数の乗法・除法		②	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 	
		3 文字式の利用 1 文字式の利用 2 関係を表す式		③	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いることのよさに気付いて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。 	
9月	3章 1次方程式	1 1次方程式 1 方程式とその解 2 1次方程式の解き方 3 比例式 2 1次方程式の利用 1 1次方程式の利用	20	①	<ul style="list-style-type: none"> 方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 簡単な一元一次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子 提出物 振り返りシート (授業・節・章) 小テスト 定期考査
		②	<ul style="list-style-type: none"> 等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 一元一次方程式を具体的な場面で活用することができる。 			
		③	<ul style="list-style-type: none"> 一元一次方程式のよさに気付いて粘り強く考え、一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。 			

月	単元	学習事項(指導内容)	時数	観点	評価基準	評価方法
10月	4章 比例と反比例	1 比例 1 関数 2 比例 3 座標 4 比例のグラフ 2 反比例 1 反比例 2 反比例のグラフ 3 比例と反比例の利用 1 比例と反比例の利用	20	①	<ul style="list-style-type: none"> 関数関係の意味を理解している。 比例・反比例について理解している。 座標の意味を理解している。 比例・反比例を、表・式・グラフなどに表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子 提出物 振り返りシート (授業・節・章) 小テスト 定期考査
②				<ul style="list-style-type: none"> 比例・反比例として捉えられる二つの数量について、表・式・グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 比例・反比例を用いて、具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 		
③				<ul style="list-style-type: none"> 比例・反比例のよさに気付いて粘り強く考え、比例・反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、比例・反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。 		
11月	5章 平面図形	1 平面図形 1 平面上の直線 2 図形の移動 2 作図 1 作図の基本 3 円 1 円	20	①	<ul style="list-style-type: none"> 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子 提出物 振り返りシート (授業・節・章) 小テスト 定期考査
②				<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察し表現することができる。 基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。 		
③				<ul style="list-style-type: none"> 平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて粘り強く考え、平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、作図や図形の移動を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。 		
12月	6章 空間図形	1 空間図形 1 いろいろな立体 2 空間における平面と直線 3 立体のいろいろな見方 2 立体の表面積と体積 1 立体の体積 2 立体の展開図 3 おうぎ形の計量 4 立体の表面積 5 球の体積と表面積	20	①	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係を知っている。 おうぎ形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子 提出物 振り返りシート (授業・節・章) 小テスト 定期考査
②				<ul style="list-style-type: none"> 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。 立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。 		
③				<ul style="list-style-type: none"> 空間図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、空間図形の性質や関係をを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。 		
1月	7章 データの活用	1 データの整理とその活用 1 度数の分布とヒストグラム 2 データの比較 3 累積度数 2 確率 1 ことからの起こりやすさ	15	①	<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子 提出物 振り返りシート (授業・節・章) 小テスト 定期考査
②				<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。 		
③				<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや相対度数などのよさに気付いて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたり、多面的に捉え考えようとしていたりしている。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気付いて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。 		
2月						
3月						